

【整理整頓について】 H30.2.6

昨日、ハード面のお話をさせていただいた後、もう一度自分なりに整理してみましたので、今後のみなさんのご検討の一材料にしていきたいと思います。

さて、右は・・・あまりみたくないことでしょうか・・・すみません。

なぜ、整理整頓を指導するのでしょうか？

いろいろ調べてみると、整理整頓をするのは「スキル」として取り扱われています。つまり、人が成長するにあたって身に付けなければならない必要な能力だということです。工場であれば、仕事を効率的に、機能的に進めることができると同時に、事故防止、安全のためにも不可欠な能力だと言えます。

これを放課後等デイサービスで考えると、整理整頓を指導する意味は、やはり『機能的に荷物をあつかうことができる』ことと、『見た目美しい』ということでしょうか。

右は、柿生の事業所で撮影したものです。カバンの入れ方については、このようにすべての子が入れるととても美しく見えると思います。(水筒、上着については異論がありますが・・・)

※水筒について：水筒は、例えばお茶を飲む（水分補給する）際に必要なので、「水筒入れ」という別の箱・かごを用意して全員の分をそこに集めて保管するのがいいのではないかと考えています。

※上着について：あまりさんがされているように、ハンガーコーナーがほしいところですね。

最後に、カバン入れのかごの件ですが、○る○さんのこの学習の姿は、とても機能的で理にかなっていると思います。勉強を始めたはいいが、カバンの中に出し忘れたものがあってもすぐに取り出せるし、終わればその場できちんと片付けができます。ここにカゴがあれば、勉強している横に、かごに入ったカバンがちょこんと置いてあって、だれがみても「散らかっている」とは思わないでしょう。

かごについては、別のメリットもあると思っています、このかごの中に、カバンや手袋、借りてきた図書館の本、学校で制作した作品等をかごに入れておけば、たなから落ちてくることもなく、他の人のものと入れ替わって持ち帰られるといったリスクも確率が下がると考えられます。

思い付きをだらだら並べましたが、整理整頓のプロでも何でもありませんから、繰り返しますが今後の検討の一材料にいただければ幸いです。

訪問させていただくたびに、いつも多くの気づきを与えてくださって本当にありがとうございます。みなさんの前向きな障がい児支援をこれからも精いっぱい応援させていただきます。田中さとる

